

行政の水の日の取り組み

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、毎年8月1日を「水の日」とし、この日から一週間を「水の週間」として、水に関する啓発行事を全国的に実施しています。今年のテーマは「私たちの水 日本の水」として、水が健全に循環する事によってもたらされる水の恵みや健全な水循環の重要性について啓発行事を実施しました。



荒川治水資料館(amoa)で行った
「水の日」の広報



第12回 川でつながる発表会

参加無料

主催:新河岸川流域川づくり連絡会 共催:新河岸川流域総合治水対策協議会

新河岸川流域内の学生が、川、水、環境について、日頃の活動成果を発表し、さまざまな世代が川について交流する場として、発表会を開催いたします。

■プログラム

- 10:15 受付
- 10:25 開会
- 10:30 現地見学会
(12:00 昼食)
※昼食、上履きをご持参ください。

13:00 発表会/
学校(小学生~大学生)を中心とした川、水、環境についての発表
交流会/

学校、市民団体、行政の川、水、環境についての取り組みに関するパネル展示、講義、クイズラリーなど

16:00 閉会

お問合せ ■国土交通省荒川下流河川事務所調査課

平成29年2月12日(日)
10:25~16:00(受付10:15)
和光市立第三小学校体育館
〒351-0113 埼玉県和光市中央1-1-4



■現地見学会に参加希望の方は
申し込みが必要!(先着40名程度)
氏名/職業/学校/住所/電話番号をご記入のうえ、右記E-mailまたはFAXにてご連絡ください。

【申込】
新河岸川流域川づくり連絡会事務局
日本工営株式会社 都市・交通計画部 今野
E-Mail:sogo-bosai@dx.n-koei.co.jp FAX:03-3238-8239

事務局だより

第2回連絡会が開催されました

10月11日(火)に第2回新河岸川流域川づくり連絡会が開催されました。第2回連絡会では、2月に開催予定の「第12回川でつながる発表会」のテーマや現地見学会の見学施設・コースについて協議しました。



第2回連絡会のようす

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します!

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などを手紙またはFAX・メールにて下記連絡先までお寄せ下さい。

連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所調査課内)
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



発行●新河岸川流域川づくり連絡会(荒川下流河川事務所 調査課内)
住所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日●平成29年(2017)1月12日

VOL.81



切り絵 毛利将範

目次

- P2~3 新河岸川流域の活動報告in2016
- P4 行政の水の日の取り組み、
新河岸川流域第12回川でつながる発表会
開催案内、事務局だより
- P5 特集:みんなが遊んだ川はどの川?
川のうつりかわりを追いかける!!と題して、連絡
会メンバーが印象に残っている地点を巡ります。



新河岸川流域の活動紹介 in 2016



今年度も、新河岸川流域の各地で市民を中心とした川の活動の1つとして川まつりが開催されました。今号では、7月から10月までに開催された川まつりの特徴や、元気に遊ぶ子どもたちのようすを中心に紹介します。

**7/16 黒目川(東久留米) 「第23回わくわく川清掃&川あそび～今年は黒目川で遊ぼうよ!～」
【主催】わくわく川掃除&川あそび実行委員会**

黒目川(東久留米)の川まつりが小山れんげ公園で開催されました。会場では朝早くから地元の小学生～高校生の子どもたちがたくさん集まり、準備を手伝っていました。会場では、午前に河川清掃、午後には水力講座やタイヤボート乗り等が行われました。子どもたちは黒目川で採れた魚や水生生物に興味津々でした。タイヤボート乗りは高校生たちが小学生の乗ったボートを引っ張つてあげて小学生たちはとても喜んでいました。また地元消防局が消防イベントとして今年初の試みであるロープブリッジ体験をしました。川とのふれあいや地域交流の場として、大いに盛り上がったイベントでした。



ロープブリッジのようす

**7/18 東川(所沢) 「東川・川まつり (身近な川しらべ)」
【主催】東川を愛する会**

東川(所沢)の川まつりが川端橋で開催されました。この川端橋周辺で今年護岸工事が完工しました。当日は、あたらしくなった水辺に地元の小学生や東中学校のソフトボール部とバレーボール部の部員が集まりました。最初に川辺を清掃した後、さかな調べ、川の水調べ、水生生物調べをしていました。子どもたちは身近な川に魚がいっぱいいたことに驚いていました。また、子どもたちは魚についての講座を受けて理解を深めていました。最後はカヌー遊びを行っていました。工事で河幅が大きくなつたので、例年に比べて心地よくカヌー遊びが出来ていたようです。地元のおとなの方々の協力により、子どもたちが川辺に親しみ事が出来る地域交流の場として非常に望ましいイベントでした。



魚調べと講座のようす

**7/23 柳瀬川(清瀬) 「2016 きよせの環境・川まつり」
【主催】きよせの環境・川まつり実行委員会**

柳瀬川(清瀬)の川まつりが清瀬市の台田運動広場で開催されました。川遊びをしに大勢の子どもたちも早朝から集まり、行政・大学・NPO・企業など様々な団体が河川や環境に関するブースを設けており、地元の高校生がボランティアとして手伝っていました。午前中はラジオ体操、ウォーターバルーン、ボート遊びが行われ、川遊びをする子どもたちの声が会場に響きました。午後に行われたいかだコンテストでは、様々な工夫をこらしたいかだが会場をわかせました。様々な世代・団体の人たちが集まり、地域の交流の場として大きな役割を果たしていたイベントでした。



いかだコンテストのようす

**7/31 柳瀬川(志木) 「柳瀬川(志木)川まつり」
【主催】NPO 法人工エコシティ志木、(公財)埼玉県生態系保護協会志木支部**

柳瀬川(志木)の川まつりが志木中学校前の柳瀬川沿いで開催されました。約20組の親子が参加し、開会後にゴミ拾いをして河川敷を綺麗にしました。魚とりでは素早い魚たちを上手に捕まえる参加者の姿も見られました。続いて筏舟づくりを行いました。子どもたちは川に横一列で並び筏舟を流すと、ゆったりと流れいくようすを眺めています。最後の川渡りでは、川の流れを感じ、流されやすい場所や深くなっている場所に注意しながら、対岸まで辿り着くことができました。今年で16年目となる柳瀬川(志木)の川まつり。河川敷のゴミ拾いや水辺に住む生物とのふれあいを通じ、子どもたちが柳瀬川の自然に親しむ事ができるイベントでした。



ゴミ拾いのようす

**8/7 北川(東村山) 「第21回北山わんぱく夏まつり」
【主催】第21回北山わんぱく夏祭り実行委員会**

北川(東村山)の川まつりが北山公園で開催されました。地元の多くの親子が参加し、北川ウォーク(魚採り)、カヌー遊び、ザリガニ釣り、ウシガエル捕獲大作戦などの川遊びと、八国山虫取りハイク、木工細工や草笛づくりなどの野遊びが行われました。その他、子どもたちが採ってきた魚を展示する北川水族館や、昆虫の標本を展示しているブースもありました。お昼時には紙芝居も行われ、子どもたちは出店で買った食べ物を片手に、語り部の話に耳を傾けていました。子どもたちは川辺で遊び、生き物に触れながら楽しい時間を過ごしていました。市民の方々の積極的な活動によって、大いに盛り上がったイベントでした。



北川ウォークのようす

**8/7 黒目川(新座) 「第18回わいわい川遊び『アユの棲む黒目川をきれいにして川で遊ぼう』」
【主催】黒目川流域川づくり懇談会**

黒目川(新座)の川まつりが新座市の栗原一丁目公園及び公園前の黒目川河原で開催されました。近所の子どもたちや親子が集まり、はじめに、河原と川の中のごみ拾いや網を使った魚とりを行いました。アユを捕まえて喜んでいる人もいて、おとなから子どもまでとても楽しんでいました。魚とりの後は、公園にて魚の解説があり、子どもたちは熱心に聞き入っていました。午後からはカヌーやタイヤボートで遊びました。おとなたちが小学生の乗ったボートを押してあげていました。川下りを楽しんだ小学生たちは、めったにできない体験にとても喜んでいました。身近な川を通して、親子で夏の遊びを楽しめる和やかなイベントでした。



川遊びのようす

**8/21 黒目川(朝霞) 「黒目川・川まつりこどもおとなもハンディのある人もない人も」
【主催】黒目川まつり実行委員会**

黒目川(朝霞)の川まつりが新高橋下流左岸の河原で開催されました。たくさんの地元の子どもたちや親子連れが参加し、開会式の後、水質調査や網を使った魚とりを行いました。参加者がとった魚は数十種類にもなり、スタッフからは魚の特徴や生態に関する説明がありました。午後はカヌー、タイヤボートなどで、子どもたちは川遊びを満喫していました。また、河原ではスイカ割りが開催され、なかなか割れないスイカに苦戦しながらも、最後はみんなでおいしいスイカを食べました。前日は大雨で開催が危ぶまれましたが、楽しく賑やかなイベントでした。



水質調査のようす

**10/15 越戸川(和光市) 「～和光新発見！！水辺再生・川で遊ぼう！～ 第20回越戸川まつり」
【主催】和光自然環境を守る会**

越戸川の川まつりが赤池親水公園で開催されました。地元の子どもたちや親子が集まり、開会式の後、みどりのそよ風合唱団が清水かつらの童謡を元気いっぱい歌っていました。毎年恒例の魚とりも行われ、水槽の中を優雅に泳ぐ魚を観察する水族館という形で楽しみました。他にも出店、川にかかるパネル展示、竹細工体験コーナーなど様々なブースがあり地域の子どもとおとの交流の場として賑わっていたイベントでした。



ボート遊びのようす

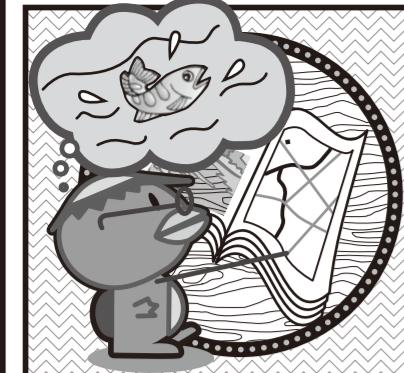
**10/16 白子川(練馬区) 「第16回白子川源流まつり」
【主催】白子川源流まつり実行委員会**

白子川の川まつりが大泉井頭公園で開催されました。近所の親子が集まり、会場には水に関するブース(“水質”ってなんだろう、雨水浸透は湧水の命など)や川の生き物、“源流の森”プロジェクト、遊びと体験に関するブースが数多くありました。子どもたちはブースを自由に回り、環境や文化を楽しく学んでいました。ステージでは小学生が「白子川調べ学習」を発表するなど、子どもたちの学びと地域交流が盛んなイベントでした。



ステージ発表のようす

※今回は流域内での活動の一部を紹介しました。流域内ではその他にも様々な活動が実施されています。また、市民の方々から写真を提供いただきました。



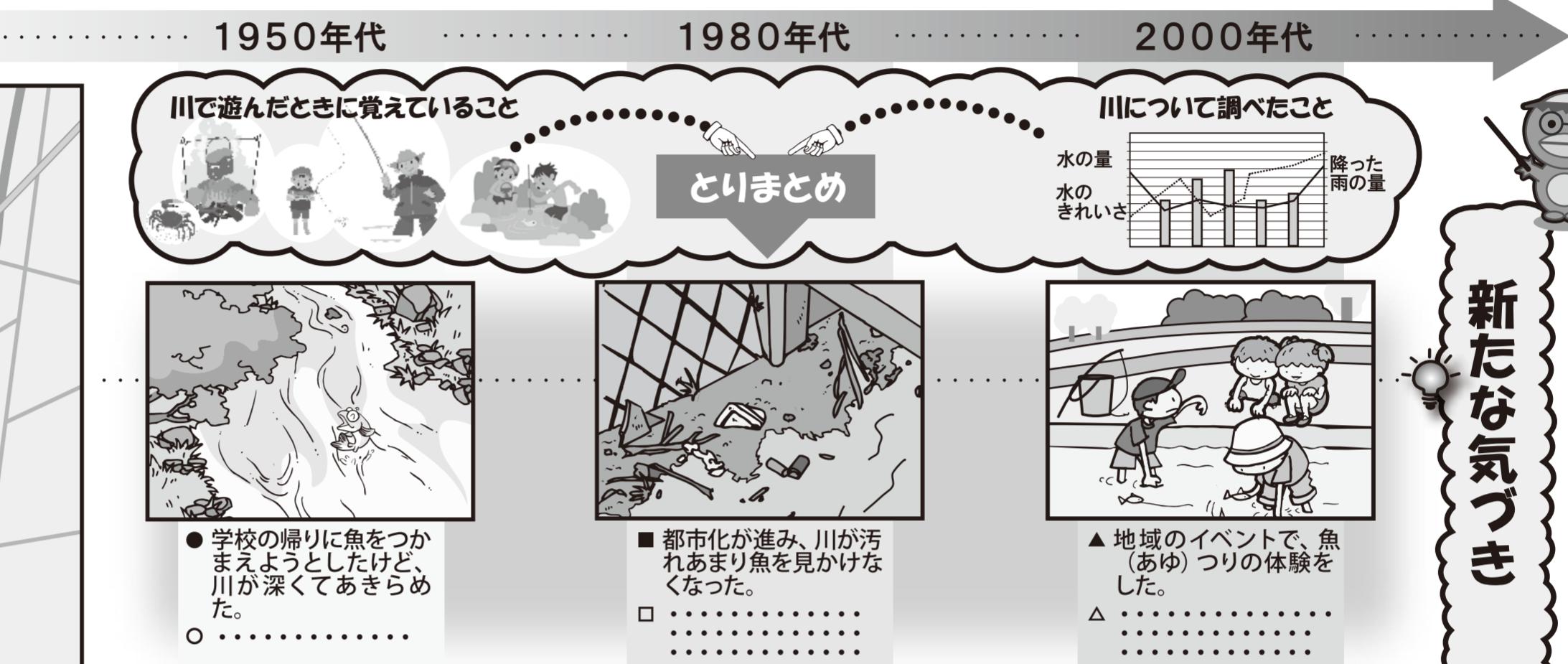
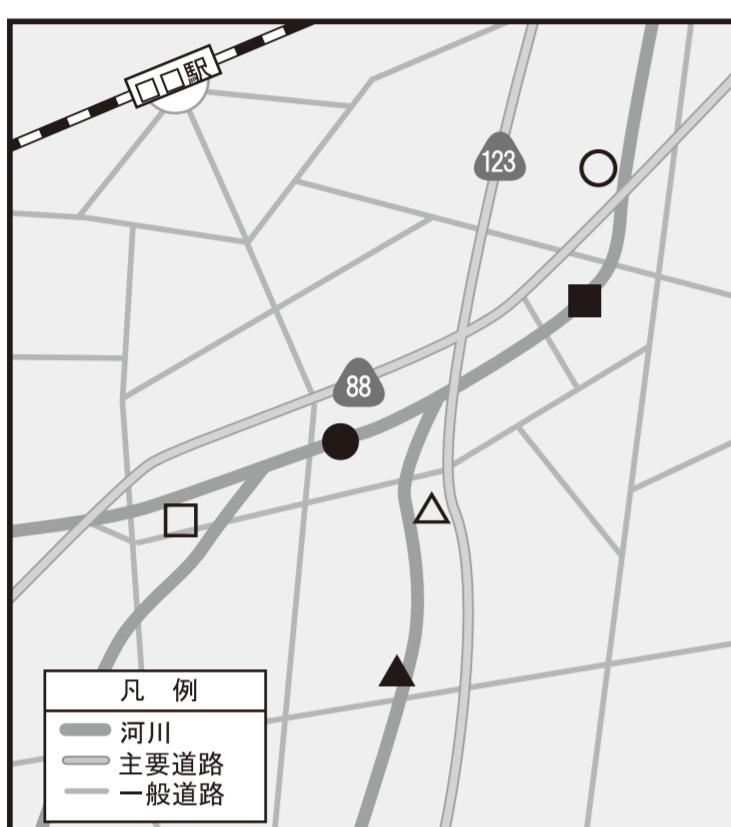
みんなが遊んだ川はどの川？ 川のうつりかわりを追いかける!!



新河岸川流域川づくり連絡会では、「むかし川で遊んだときに覚えていたこと、水害について覚えていたこと」や「水のきれいさ、水の量など川について調べたこと」をたくさんの人から集めて川や流域のうつりかわりとしてまとめたものを“流域誌”と呼んでいます。流域誌をまとめることで、新たな気づきがあるかもしれませんね。今号では、新河岸川流域川づくり連絡会がまとめている流域誌の“いまとこれから”を紹介します。

[流域誌のイメージ]

〇〇川のうつりかわり

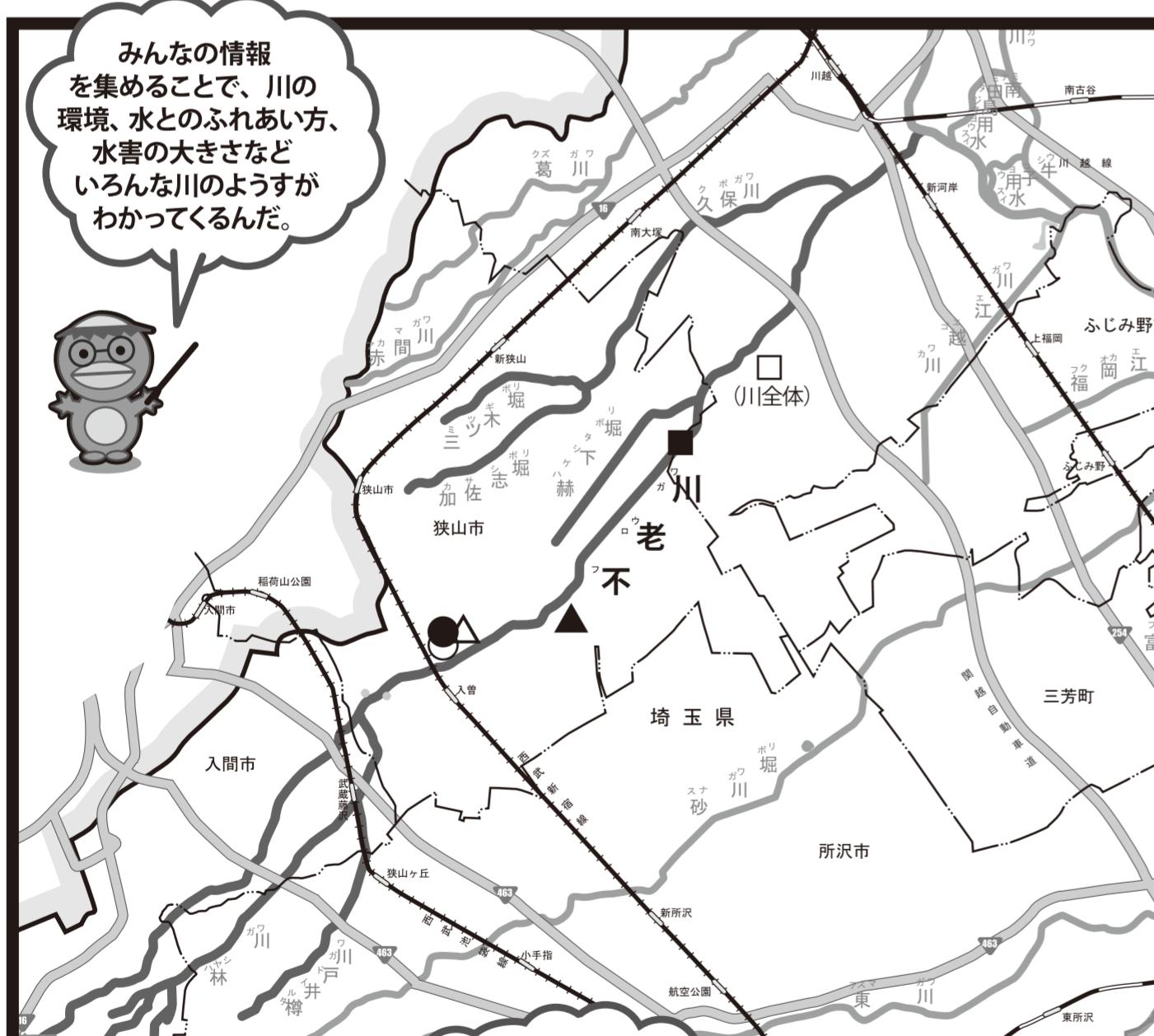


新たな気づき

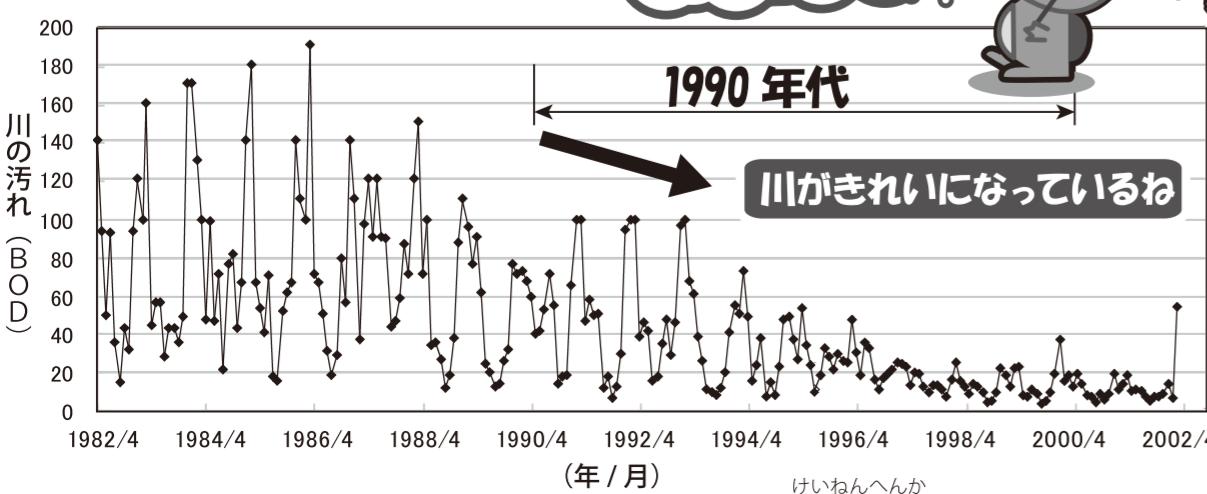


新河岸川流域における流域誌のいま

新河岸川流域では、昨年より、流域内の川にかかるイベントなどでみんながむかし川で遊んだことやそのときの川のようすを集めはじめたところです。これまでにみんなから集めた意見の中で、不老川のうつりかわりの一部を紹介します。



新たな気づき



新河岸川流域における流域誌のこれから

これから、新河岸川流域川づくり連絡会メンバーが関わる川まつり（本紙 p.2,3 参照）や川でつながる発表会（本紙 p.4 参照）等の流域内のさまざまなイベントでみんなの経験を聞いていく予定です。

昨年度の発表会では、こどもは、「いま、川で遊んだときのこと」おとなは、「むかしといまの川の違い」などを教えてくれたんだ!

